

平成7年10月24日第3種郵便物認可 2011年11月10日発行(毎月1回10日発行)・通巻258号

2011

【月刊】
En-ichi 圓一

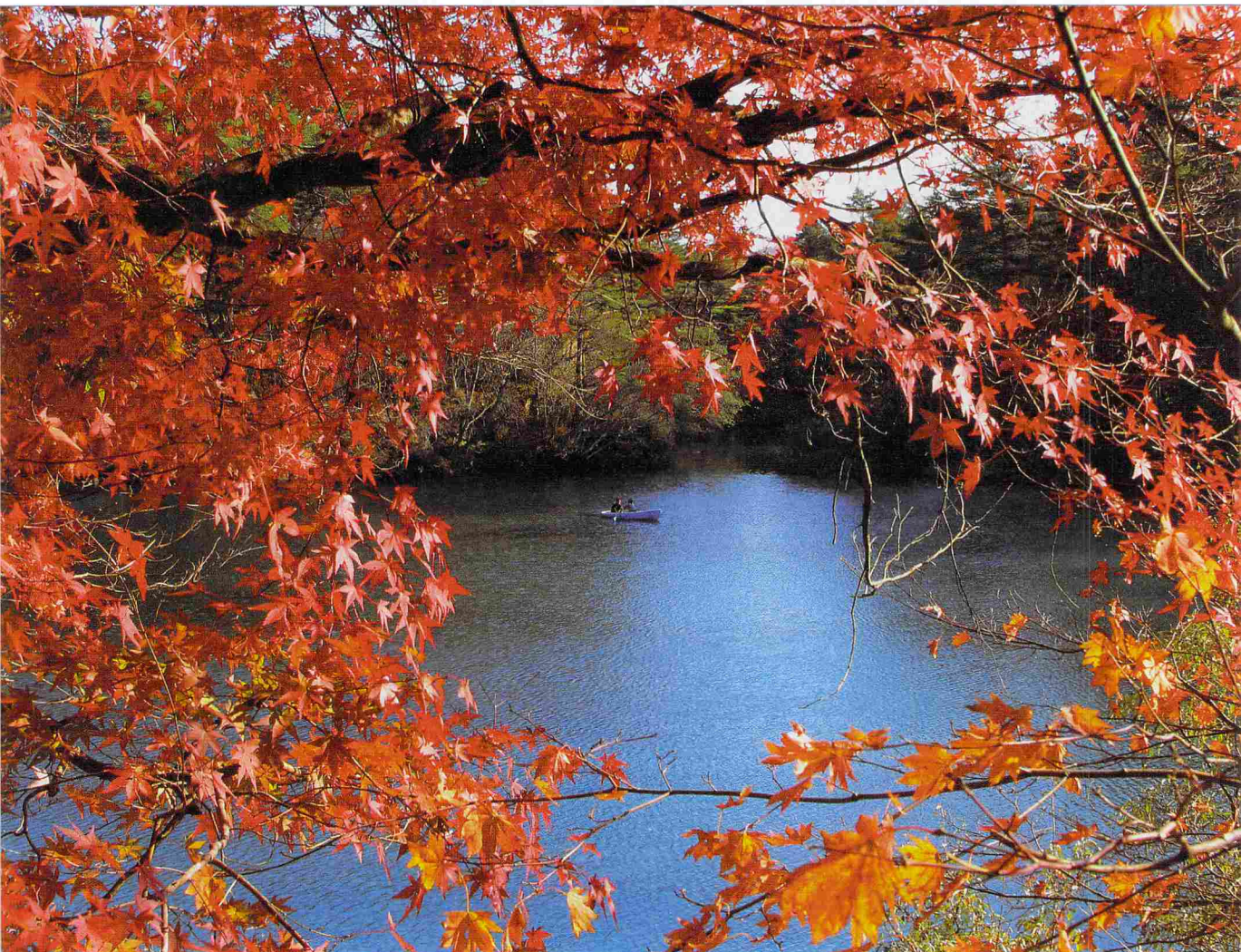
11
no.258

魂の教育を実践する

インタビュー

「家族」を守る公民教育を取り戻せ

大月短期大学教授 小山常実



日本の家庭を守る教育情報誌

今月の
焦点

教科書から家族論がなくなるということは、「教育によって家族を守る」ことを放棄することになる。むしろ個人主義、平等主義思想の教育で、家族解体という逆方向に変えられているのです。

「家族」を守る公民教育を取り戻せ 小山常実…6

介護とは…人生最期の時を尊敬されながらも、もう一度よく愛され大事にされ、…笑顔でこの世を旅立っていく。この時も、家族間の関係性の充足がとても大切な役割を果たすものと考えられます。

「家族を中心とした介護」支援する仕組みを…9

スウェーデンでは、親族介護者への支援は義務化した。…税制的にも優遇され、親の介護を遠隔地からでも行っている世帯に対しては、…負担軽減を図っている。

変わるスウェーデン・モデル…11

郷土には、その地域の人たちが誇りにしている昔の教えや偉人などがいる。そうした教えや偉人の生き方を「共通の価値」とし、道徳教育に活用していくという取り組みを展開していくのである。

「モラルモデル」による地域ぐるみの道徳教育を 渡邊毅…16

3 巻頭言

いまこそ日本に必要な道徳教育・人格教育を 大妻女子大学元教授 金井 肇

4 教育再生への課題と展望

個人主義と平等主義で教育が逆の方向に変えられている

「家族」を守る公民教育を取り戻せ 大月短期大学教授 小山常実

8 家庭学

「家族を中心とした介護」支援する仕組みを

10 ワールドアフェアーズ

変わるスウェーデン・モデル—家族の力を活かした福祉制度へ

12 情報ファイル

都立高生、5割弱が留学に否定的
エイズ患者、過去最多を更新

14 私の教育実践

「モラルモデル」による地域ぐるみの道徳教育を 皇學館大学准教授 渡邊 毅

18 病を克服した偉人たち

小林一茶 家族を失う孤独と闘い、2万句を遺す

20 子育ては絵本で大丈夫

「よだかの星」真の幸福を求めて 劇団天童/天童芸術学校代表 浜島代志子

21 教育情報

スティーブ・ジョブズ氏に影響与えた「禅」の思想

22 Book Review

24 歴史と伝統の探訪

ハンセン病患者救済に捧げたキリスト者／沖繩



大妻女子大学元教授

金井 肇

巻頭言



日本人古来の生き方の現れ

この三月の東日本大震災の際の日本人の対応について、諸外国から賞賛の声が上がっているという。なぜ日本人はこのように道徳的に行動することができるのか、と問われて人々が納得できる説明は聞こえてこなかった。

しかし、この問題は、私たち自身、明確にしておく必要があると考える。国際社会の中で信頼されていく為には、私たち日本人は何を大切にして生きるかということをも、明確にしていることが必要と考えるからである。

日本人論は多々あるが、右の問題にかかわりがある一つを、国際教養大学の副学長グレゴリー・クラーク氏が『ユニークさの源泉・日本人』（サイマル出版会・1977）で述べている。本書では、日常生活で出合う幾つかの場面で、日本人ならこうする、アメリカ人ならこうする、と事例を挙げている。その上で日本人はなぜ自己主張が強くないか、相手のことを思いやるのか、といった国民性の違いを挙げた上で、国際的にユニークな、日本人の自己主張を優先しない態度がどこから生じているかを、古代からの農業生活の違いから説明する。日本では水田耕作であった。水田耕作の為に水路をつくったりして幾つもの家族が共同で作業することが多く、その共同体が人々の生活を成り立たせる基盤として重要であった。

いまこそ日本に道徳教育・人格教育を

だから村落共同体では、協調性が大切であった。そこまではこの書以外にも、すでに書かれている。この書は、更に言う。水田耕作なら朝鮮半島も中国大陸も同じで、人々が自己主張が強いことを見れば、水田耕作が自己主張をしない人々をつくった、とは言えなくなる。G・クラークは、民族の存亡を懸けた戦争を繰り返してきたかどうかを自己主張を優先する態度をつくってきたと見る。そうした戦争では、国民を一丸とする為に、我が方の正当性を主張し、相手の非を鳴らすことが常であるため、国民の一人一人も自己主張が強くなると考える。

日本は、今次大戦までは民族の生存を懸けた戦争を経験してこなかった。だから古代日本人のもっていたものがそのまま保存されていると考えられる。古代そのままと言えば、本居宣長は古代日本人のものの考え方が「さかしら」を嫌い、真心を大事に生きたことを挙げている。

道徳教育が一層重要になる

大震災に際しての外国からの評価は周知の通りだが、日本の中から見ればくすぐったい限りと言える。しかし、今後の国際社会においては、今のままで通用することは考えられない。古代日本人の生活態度を学び直すとともに、「道徳性」を高める道徳教育を一層充実させ、国際社会でも一層信頼される関係をつくっていかなくてはならない。

個人主義と平等主義で教育が逆の方向に変えられている

「家族」を守る 公民教育を取り戻せ

公民教科書から「家族」「地域社会」が消えた。教育によって守らなければ、家族は解体に向かってしまうだろう。

学習指導要領から 削除される

私は憲法と教科書との関連を調べるため、公民教科書の研究を続けてきました。

そこで今回の検定に合格した各社の教科書を読んでみたのですが、驚きました。多くの教科書から「家族」が消えたのです。

平成二十年に発表された新学習指導要領では、それまでの学習指導要領（平成十年）にあった「家族や地域社会などの機能を扱い、人間は本来社会的存在であることに着目させ」から「家族や地域社会

などの機能を扱い」という記述が削除されました。それでも私は、家族論を書かずに公民教科書ができるわけがないとも思い続けてきました。しかし、この期待は裏切られました。

今から約三十年前の昭和五十三年、各教科書が家族について記したページ数は、平均二十ページでした。ところが来年度から使用される教科書では、平均一・三ページにまで記述が減少しているのです（表参照）。

以前の公民教科書は、戦前の家制度を批判していましたが、それでも家族に関する教育は重視していました。昭和五十三〜五十五年

度版までは、一章をとって家族について説明しています。記述は減っていきましたが、「家族は社会の基礎単位である」あるいは「共同体である」ということを教えました。家族を守らないといけないというスタンスはあったわけです。

「親子も平等」と強調する

しかし、大家族が消えると共に、家族教育にも力を入れなくなり、記

小山常実

こやま・つねみ
大月短期大学教授

昭和24年石川県生まれ。京都大学大学院教育学研究科博士課程単位取得。専攻は日本教育史、日本憲法史、日本政治思想史。著書に「戦後教育と『日本国憲法』」「歴史教科書の歴史」「公民教育が抱える大問題」他。





公民教科書の「家族」の記述量の変化

- 東京書籍／昭和53年19頁⇒現行4頁⇒今回単語のみ
- 日文(旧大阪書籍)／昭和53年17頁⇒現行1.4頁⇒今回0.6頁
- 教育出版／昭和53年19頁⇒現行4頁⇒今回1頁
- 清水書院／昭和53年26頁⇒現行2頁⇒今回単語のみ
- 帝国書院／昭和53年19頁⇒現行2頁⇒今回2頁
- 扶桑社／現行2頁⇒今回(育鵬社)3頁
- 自由社／⇒今回4頁

なぜそのような声が多かったのかと言うと、歴史を中心にみるからです。公民はあくまで歴史の付属物になっている。だから、家族が消えたことなどのような事態をもたらずかまで、気付かない人が多かつ

また、「対立と合意」「効率と公正」が、新学習指導要領の目玉になっています(目標2「現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などについて理解させる」)。社会集団の対立を解決して合意に達するためには効率と公正のバランスを

個人と家族の間が分裂

り否定すべきことになるわけです。その一方で、教科書は「平等」を強調しています。夫婦、親子の平等です。家族の成員は平等であると位置づけられるわけです。しかし家族の中で「平等権」が基本になると、親子関係は上下関係となり

各社の公民教科書。家族論を扱う教科書が減少している

述も減っていききました。今回、教科書からも「家族論」が消えたのです。最も採択率が高い東京書籍は家族を単元扱せず、単語が出てくるのみです。「家族とは何か、どうあるべきか」といった話は全く書かれていません。清水書院もそうです。また教育出版には単元はあるのですが、一ページです。日本文教出版には単

元も設定されていません。前回の採択率で見ると、ほぼ九〇%から家族論が消えたことになりました。結局、家族論を扱っている教科書は、帝国書院と育鵬社、そして自由社の三社だけなのです。非常に深刻な事態です。学習指導要領から家族が削除された時、これは家族を解体していく布石だと私は感じました。しかし当時、保守派と

たのです。それから、以前はあった民法の親権などの説明も省略されています。少なくとも最近十年間の教科書には、親権の話が出てきません。親子の「愛情を育む」という面だけですから「親が子供を指導する」場面は全く書かれていないのです。

家族を守るためには 教育できちんと取り あげることが大切

考えていかなければならないという考え方が強調されているわけです。

しかし、効率と公正という観点、特に効率の観点は利益社会にしか通用しないものです。原初的な共同社会である家族には、通用しない。家族に無理に効率と公正のバランスといった観点を持ち込めば、家族は利益社会化し、解体を余儀なくされる。ところが今回の教科書には、家族に効率を持ちこんだ記述をしているものもあるのです。

さらに、公民の教え方の基本は「個人主義」です。個人の幸福や権利を第一に考えて、それに対峙する形で家族のような共同体を考えるととしますから、どうしても個人と家族の間が分裂してしまいます。共同体の価値と個人の価値の二元主義で捉えて、それをどう調整するかで考えればいいのですが、共同体はあくまで個人の道具だと考えるのです。

家族には「縦のつながり」があります。先祖から子孫への縦のつながり、祖父母から父母、子ども、

孫へのつながりです。しかし、この点に触れた教科書はありません。家族を共同体と捉えず、個人々の集合体としてしかとらえていないわけです。

子ども手当の考えを 強化している教科書

私は、現代の家族に対する捉え方の一つの象徴として、子ども手当や夫婦別姓法案が出ていると考えています。教科書から家族論が消えたのは、そうした流れと一体になっていると言えるでしょう。子ども手当の根底にあるのは「子どもは家族のものではなく国家のものである」という考え方です。その考え方を公民教科書がさらに強めていくことになるわけです。

確かに、資本主義社会が進むほど、家族は壊れやすくなる傾向があります。それを国の施策や思想的な力によって守っていかなければなりません。思想的に守っていき、教育が大事になります。ところが教科書から家族論がなく

なるということは、教育によって家族を守ることを放棄することになるわけです。むしろ個人主義、平等主義思想の教育で、家族解体という逆方向に変えられているのです。

ですから、教育で家族をきちんと取り上げることが大切だし、正道だと思えます。例えば家族を守る法律を制定することも必要ですが、教育によって地道に国民の意識転換を図ることをやっていかなければなりません。

「家族」の記述を復活 させるべき

公民教育の改革の方向としては、一つは学習指導要領に「家族」の言葉を復活させることです。復活させれば、少なくとも教科書に単元が設けられるようになります。

通常、学習指導要領は十年単位で改訂されます。ですから言い続けなければなりません。次の改訂では絶対に家族を復活させるようにしなければなりません。これが

国家論がないことが、家族や地域社会の問題にもつながっている

遅れると、公民の中で家族論が完全に無視されてしまいます。家族がなくても検定に合格する、あるいは単元を設けず小見出しに入れるだけということにもなります。

本来は国会で問題にして、すぐに指導要領を改訂せよ、部分改訂せよと主張すべきです。あるいはこれから半年かけて、来春から使われる教科書には家族について一単元設けて書くように求める。そのように訴えるべき問題です。

教育基本法にも「家庭教育」は謳われているのですが、無視されたわけです。家族についての単元を設けていない教科書を検定合格させること自体がおかしいのです。今年も東日本大震災の影響で、家族や地域が大切だという意識は、思想信条に関わらず国民の間に広がりました。この時に教育で家族と地域社会を掲げていたら、素直に受け入れられるはずですが、その絶好のタイミングを逃しました。教科書を見て私はそう感じました。

また、もう一つ重要なことは、公民教科書には「国家論」がありま

せん。国家論がないことが、家族や地域社会の問題にもつながってきます。

国家論を教える必要がある

ですからポイントとして、日本という国家がどのようなものなのか、国家の自画像をはっきりさせることです。日本人の立ち位置。日本の伝統文化。こうしたことを私たちが再度考えていく必要があると思います。その上で教育も改革していくべきです。

さらに、国家を支える一番の基礎が家族であるということです。私は「新しい公民教科書」(自由社)の編纂に関わったのですが、この教科書では、家族の定義として共同体を明確にしましたし、親子の上下関係、縦のつながり、世代といたことを書いています。それから民法と家族の関係で親権の話も教えます。実は、こうした点から家族を定義したのは、戦後の教科書としては初めてなのです。

次に大事なのは、立憲主義です。国家運営は立憲主義と民主主義が二本柱であると。立憲主義とは何かということ、中学生の段階で身につけさせることが有権者としての素養になっていきます。

立憲主義とは何かというときに教えなければならないのが、法治主義です。そして三権分立、国民の基本的な人権の尊重、特に自由権の尊重です。

これらの立憲主義や民主主義についての理解を深めるためにも、国家とは何か、その役割とは何かを教える必要があります。国家論をきちんと教えることで、基本的な人権という思想もきちんと身に付くのです。

国家の役割ということでは四つ、定義することができそうです。防衛と社会資本の整備、これは公共の福祉という概念につながっています。そして社会秩序の維持、四ポイントが国民一人ひとりの権利の保障です。国民の基本的な人権を守るということも教える。そうすれば公民教育も変わっていきます。■

「家族を中心とした介護」を支援する仕組みを

高齢者介護を社会全体で担っていくという施策・仕組みが広がっている。ただ、高齢者の幸福にとって家族との関係性は特別。家族による介護を希望する高齢者も多く、「家族を中心とした介護」に正面から取り組む必要がある。

社会学者 白岩士人

要介護者に家族は特別の存在

核家族や老夫婦のみ世帯など家の形態が小規模化してきている今の家族にとって、程度の差こそあれ介護は大変負担の多い営みです。介護される側にとっても家族に負担をかけまいとする気苦労がないわけではなく、介護は家族だけで担うには限界があり、社会全体で担っていくという考え方が受け入れられつつあります。

また、本年六月には「地域包括ケアシステム」の構築を掲げ、介

護職員による「たんの吸引」等の実施など、医療ケアも含めた介護保険法の改正がなされ、介護福祉の専門性を高めることによって、介護家族の負担を軽くする施策・社会の仕組みの拡大が図られてきています。

では、介護における家族の役割はだんだんなくなってしまうのでしょうか。いくつかのエピソードから家族と介護の問題を考えてみたいと思います。

あるケアハウスでの体験でした。入所していた老婦人が「今日、娘が孫を連れて訪ねてきてくれたのよ」と、とても嬉しそうに話して

くれました。「でも、すぐに帰っちゃうんだから！」と家族と共にいる喜びと別れの寂しさを端的に表現していました。

また、認知症の高齢者のデイケアの施設に夕方、家族が迎えに来たときの認知症高齢者の嬉しそうに顔は、保育園にお母さんが迎えに来てくれたときの園児の喜びの顔と似ています。認知症の症状は家族に対して強く出ることによく知られています。それは家族に対して心を開いているということだとも考えられます。

要介護者にとって家族とは特別な存在なのです。人として感じる

幸福感は関係性の充足に原点があり、その基礎は家族の関係性にあります。関係性の充足は愛情の充足といっても良いと思いますが、次のような事例もありました。

「人生で一番誇れること」

「九十歳近い母親。長女夫婦へ送り届け禁止します」という判決が横浜地方裁判所が出たということがニュースになりました。

遺産を相続した長男夫婦が、介護のため母親を引き取り、お世話をしていたのですが、長男夫婦の申し出で、長女夫婦に母親をあげ、二十日ほどたっても引き取りにきません。そこで長女夫婦は、母親を長男夫婦宅へ連れて行きました。長男夫婦は無断で母親を連れてきたことに立腹し、「老母を置き去り」というビラを長女夫婦の家の周囲に配ったりしました。母親は、行ったり来たり相手の家に戻されました。時には相手の家に誰もいなく鍵がかかっていたらば、

玄関先に母親は荷物のように置き去りにされたりしていました。

裁判の結果として、遺産を相続した長男夫婦が母親を看ることとなりましたが、少しさびしく悲しいエピソードで、愛の片鱗も見当たらない兄弟姉妹の関係性の崩壊を意味しています。

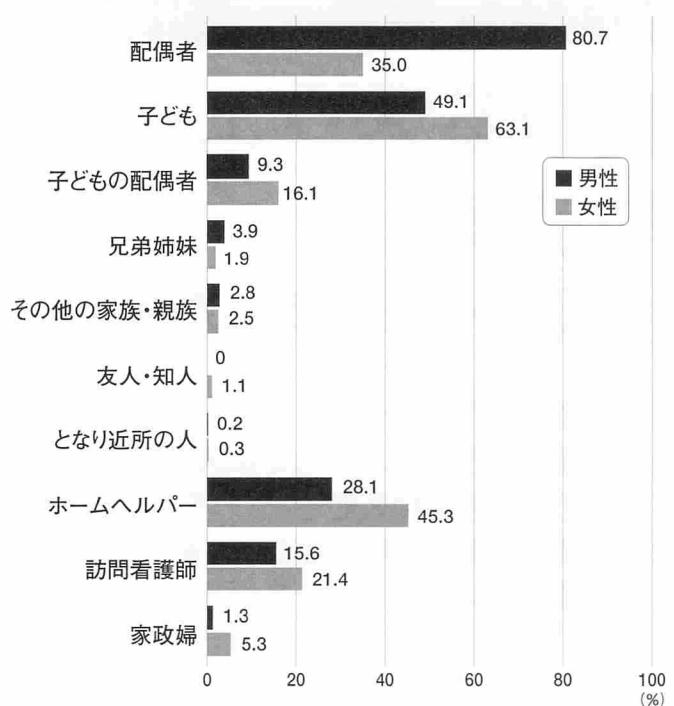
介護実践に関して、都内の大学の総長経験者と面談した時のことでした。親の介護と関連して「僕の人生で一番誇れることは、母親の下の世話をしたこと」とうれしそうに話してくれました。

また、大手企業の研究員である友人は、病院に三年間通って寝泊りし、親の介護を担って最期まで看取り、「体はくたくたになり大変だったけれども、充実感があり、全く悔いはありません」と胸を張って言いました。

「人は何故、介護が必要になるのか？」という問題を少し考えてみましょう。

介護とはいませんが、一〇〇%養護を必要とする「赤ちゃん」から類推してみます。赤ちゃんは一

介護を頼みたい相手 65歳以上の男女 2007年



内閣府「高齢社会白書」(調査は「高齢者の健康に関する意識調査」平成19年)

人では生活上何もできません。親から愛されないと生きられない存在です。赤ちゃんが生活的には何もできないようになっていっているのは、愛されるためにわざとそうになっているのではないのでしょうか。「愛する回路は愛される経験なしには獲得されない」(脳科学者の松本元氏)とあるように、赤ちゃんは愛されることによって、人間として立派

な人格が形成されていきます。

もう一度、愛され 大事にされる期間

高齢期になると一人ではできないことが増え、そこを埋め合わせるために手を掛けてもらうのです。介護とは、人生、もう一度、愛され大事にされるための期間とし

てあるのではないのでしょうか。すなわち、人生最期の時を尊敬されながらも、もう一度よく愛され大事にされ、良きものを心に蓄えながら、笑顔でこの世を旅立っていくのです。この時も、家族間の関係性の充足がとても大切な役割を果たすものと考えられます。

内閣府のアンケート調査でも、介護を頼みたい相手として、六十五歳以上の男性の八割が「配偶者」、同女性の六割が「子ども」と回答しており、身近な家族にみても、いたいという思いは大きなものがあります。

介護は社会全体で担っていかうという考え方が広まってきていますが、高齢者の幸福にとって家族との関係性の充足には特別なものがあります。高齢者と家族の悔いのない介護実践を考えると、社会の様々な介護支援システムを十分に活用しつつも、「家族を中心とした介護」というテーマに正面から取り組みなおして見る必要があるのではないのでしょうか。E

福祉サービスの改革を断行

スウェーデンと言えば、二十年前までは福祉大国として世界に知られ、スウェーデン・モデルと言われる社会保障制度の教科書的存在だった。出産以前からの手厚い支援、出産にともなう夫の育児休暇も当たり前、老後も手厚く保障され、「胎児から墓場まで」というのが、この国の福祉のキャッチフレーズだった。

日本の一・二倍の国土に九百二十万人が住むこの国は、厳格なゲルマンの民族性とプロテスタントを国教に持ち、アメリカ的な理想主義とヨーロッパの成熟した大人の感覚がミックスして、清潔で理知的、整然とした印象が、世界の人々に好印象を与え続けてきた。そのスウェーデンが戦後初めて岐路に立たされたのが、二十年前だった。通算五十三年に渡り、政権を維持してきた社民党が総選挙で敗れ、高福祉国家崩壊のニュー

スが世界を駆けめぐった。その後、スウェーデンは中立を捨て、一九九五年に欧州連合（EU）に加盟した。

福祉国家の基本は、国の経済が継続的に成長し続けることが大前提だが、中立で漁夫の利を得ていたスウェーデンも世界経済の成長

鈍化の影響を受け、EUに加盟するまでの数年間、マイナス成長に転じた。しかし、その後はリーマンショックの二〇〇八〜〇九年を除き、経済は堅調だ。

一九九〇年代、苦境を乗り越えるために、それまで触ることを避けてきた福祉サービス改革を断行

し、高齢者ケアや年金改革、公務員削減なども断行した。このことで社会民主主義型福祉国家として硬直化していた制度が改善され、現在のスウェーデンは、EUの中では財政は健全であり、経済も安定している。

欧州先進国は全体的に社会民主主義型福祉国家体制をとってきた。どの国においても福祉サービスが個人単位で想定されており、核家族化や離婚増加、単身で老後を過ごす人の増加から、国家の負担は逼迫する財政と反比例する形で膨れ上がり、財政赤字増大の主要因の一つと指摘されている。

在宅介護者への支援に効果

スウェーデンも例外ではなく、一九九〇年代初頭の困難な時期に改革を迫られた。最も注目された改革は、一九九二年一月に導入されたエーデル改革だ。同改革は、高齢者福祉サービスと高齢者医療サービスの統合による医療から包括的

ワールド・アフェアーズ

変わるスウェーデン・モデル

—家族の力を活かした福祉制度へ

福祉大国スウェーデンは、個人単位の福祉サービスを進めてきたが、一方で家族が崩れ、国家財政も大きな負担を抱えてきた。それに対して現在、家族介護の支援や税制改革など、家族の力を活かした福祉制度に転換を図っている。

在仏ジャーナリスト 辰本雅哉

福祉への誘導、自治体レベルへの権限と財源の分権化を実施した。

同時に、それまで高齢者に対して主流だった入院、施設介護でのケアを在宅介護と看護へ誘導する政策が実施され、結果的に医療費及び高齢者福祉費用の政府負担が節減された。特に介護・医療・看護間における施設ケアと在宅ケアとのコミュニケーションレベルでの総合化あるいは連携が進み、個々のケアの質を高めながらも負担軽減に成功している。

ストックホルムの広告代理店に勤務するヨハンソンさん(五五)は、ストックホルム南郊フッディング市に住んでいるが、五年前から彼女の母親が近くのアパートに住んでいる。七年前に夫を失くし、独り暮らしをしていた母親は、ヨハンソンさんが住むアパートの近くのサービス付き特別老人住宅に引っ越してきた。

現在、フッディング市には、サービス付き特別老人住宅の他、ヘルパーが常駐し、昼間は看護士もいるサービスハウス(現政権では廢

止の方向)もある。訪問介護のサービスの他、通報システムが整備され、在宅介護の充実を図っている。

八十二歳になるヨハンソンさんの母親は、娘が近くに住み、最低週二回は、食事を共にしている。ヨハンソンさんは、「大きな施設で老後を過ごすよりもずっといいし、なによりプロによる介護の体制が整備されながらも、自宅で老後を過ごせるのがいい」と言っている。

しかし、各自治体の財政は逼迫しており、高齢者への福祉サービスの現実には厳しい。政府は現在、サービス付き特別老人住宅に代わる「安心住居」を提案している。「安心住

居」は介護職員への連絡が二十四時間可能、共通のアクティビティも用意され、建物内には、一緒に食事をする共有スペースを持つグループホームのような形態だ。

親介護の世帯に 税制の優遇措置

同時に、最後の手段ともいうべき、親族による介護を奨励する政策も打ち出している。スウェーデンでは、二〇〇九年の社会サービス法改正で、「自治体は、家族・親族を介護する人に対し、援助と一時的休息によって、その負担を軽

減しなければならない」との条項が加えられ、親族介護者への支援は義務化した。

介護者支援としては、ホームヘルパーが週四時間まで無料で派遣され、介護者の集まる休息施設、介護者同士の活動の場が提供され、介護者のメンタルケアも行われ、家庭内暴力(DV)回避の努力がなされている。すべての財源は市から手当てされる。

さらに、介護者である子どもの介護休暇も補償され、介護休暇期間中の所得補償である一時介護両親手当や、親族等介護有給休暇の所得補償である親族手当も整備されている。また、税制的にも優遇され、親の介護を遠隔地からでも行っている世帯に対しては、介護を受ける親も家族構成員として子供世帯に組み込み課税することで負担軽減を図っている。

子供世帯の税軽減の効果もあり、結果として、出生率もこの十年間上昇を続けている。家族の協力を福祉制度に組み込む成功例として、注目を集めている。E



スウェーデンは従来の個人単位の政策から、家族の力を活かす政策に切り換えようとしている。写真はストックホルムの公園

都立高校調査

都立高校生、5割弱が留学に否定的 コミュニケーション能力の低さが自信のなさに

海外留学する日本人学生の数はここ数年減少傾向にある。東京都が九月に公表した「都立高校調査」

では、チャレンジ精神に乏しく、内向き傾向の高校生の姿が鮮明となった。

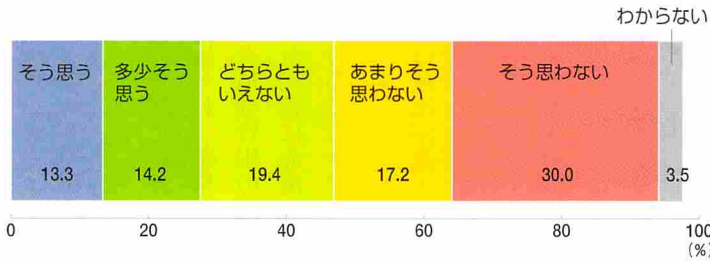
調査は都立高校二年生約八千人を対象に行われた。「今後留学したか」の問いに「そう思う」は一

%に対して、否定的回答は三八・三%。社会経済のグローバル化が加速するなか、高校生の意識は海外で学んだり働くことに躊躇する傾向がある。

「能力に自信がない」という回答が示すように、コミュニケーションとしての英語力の低さが留学や海外勤務に後る向きにさせている要因のひとつと見られる。「アジア諸国等のTOEFLの比較」を見ると、日本人のTOEFL平均点は近隣アジア諸国と比べても低い。英語力を含めて、自分と異なる他者とコミュニケーションする人間関係能力をどう身につけさせるか、世界のなかで生き抜けるグローバル人材の育成が課題だ。

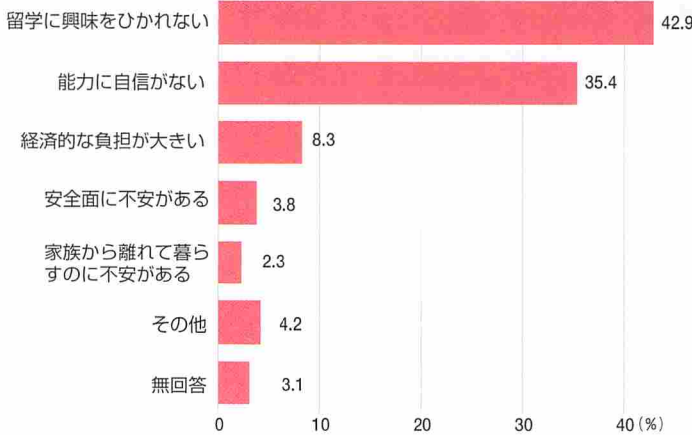
調査では他に社会貢献についても質問している。学校の授業以外に社会貢献活動を「行っている」のは二五・七%、「行っていない」が七割強に上った。ただ「積極的に参加したい」「機会があれば行いたい」という肯定的意見は六割近い。大震災以後、ボランティア意識の高揚が見られる。

今後、留学したいと思うか



留学したくない理由

(「あまりそう思わない」「そう思わない」と答えた生徒に)



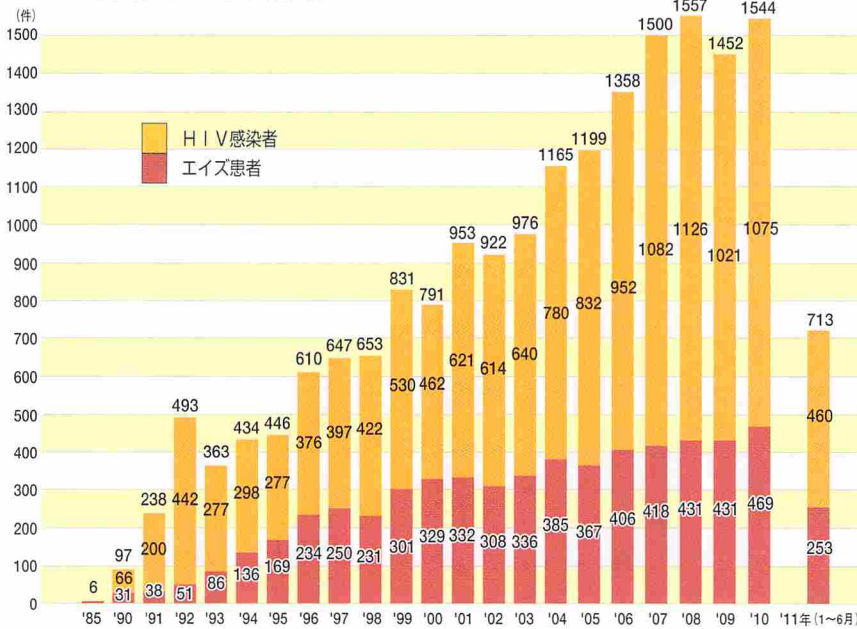
東京都「都立高校の現状把握に関する調査」

三・三%。「多少そう思う」を含めた肯定的な回答が二七・五%なのに対して、否定的な回答は四七・二%に上った。留学に否定的な生徒にその理由を問うと、「留学に興味をひかれない」が四二・九%、「能力に自信がない」が三五・四%で、「経済的負担が大きい」は八・三%に止まった。

また「仕事等で海外で活躍してみたいか」との問いには、肯定的回答は三〇・四

日本国内で報告されたHIV感染者・エイズ患者 報告数の年次推移

エイズ動向委員会まとめ



日本のエイズ エイズ患者、過去最多を更新 感染者の4割は最近5年間に確認

今年四～六月にエイズを発症した患者は百三十六人で、四半期としては過去最多となった。HIV（エイズウイルス）感染者は二百七人。厚生労働省エイズ動向委員会が九月に発表した。同委員会は新規患者数の増加について、「潜在的な感染者の増加とHIV検査の遅れ」があるとしている。

また、「エイズ発生動向年報」によると、二〇一〇年の年間患者数は四百六十九人が報告され、過去最多になった。感染者は千七十五人で、過去三番目。エイズの症状が現れて初めて感染に気づくケースも約三割に上っている。

同委員会が指摘するのは、最近五年間の感染者、患者数の増加だ。この五年間で報告された感染者は五千二百五十六人で、累計感染者数（一万二千六百四十八人）の四

一・六％を占めている。つまり感染者全体の四割が最近五年間に確認されたことになる。

また患者は五年間で二千五百五十五人が確認され、累計（五千七百九十九人）の三七・二％を占めた。国内で初めて患者が確認されたのは二十六年前の一九八五年。日本は先進国で唯一、感染者が増加していると言われているが、感染拡大の深刻な事態が続いていることを示している。

年齢別に見ると、感染者は二十～三十代が七割を占めた。

この他、日本人の異性間的接触による感染の累計で、二十五歳以上の年齢層では男性が七～九割を占めているが、十五～十九歳では女性が六三％を占め、他の年齢層と異なる傾向を示している。

世界の感染者は横ばいか減少傾向にあるが、その要因として不特定の相手との性行為を抑制するなど、性行動の変化を指摘する声もあるようだ。日本でも若い世代をはじめ、自己抑制を中心とした対応策が求められる。

「モラルモデル」による

地域ぐるみの道徳教育を

イギリスやアメリカでは「モラルモデル」共通の価値による道徳教育が行われている。日本でも偉人の生き方や考えを「共通の価値」として活かす教育ができるのではないか。

道徳的価値が 教えられない

戦後学校教育における道徳教育不振の最大の原因は、戦後に修身がなくなり教育勅語が排除されたことにあるのではないだろうか。

修身教育は主に歴史上の人物のエピソードを通じて徳目（道徳的価値）を教えた。そして、教育勅語は道徳教育の理念を示し、修身教育のバックボーンとなっていた。

この二者の否定は「道徳的価値を教えるような道徳教育はいけな

ている道徳の授業は、義家弘介氏

（参議院議員）が次に述べるような

内容になってしまっている。

「私は多くの学校で道徳の授業を実際に観てきました。驚くべきことに、八、九割の先生が、『お話し合い』の時間としているんです。たとえば、いじめ問題についての文章を生徒に読ませて、話し合いをさせる。『いじめた子のココが悪い』『いじめられた子のココが悪い』と

意見を出し合って、先生も『そういう意見もあるね』などと、したり顔で相槌を打つ。チャイムが鳴る。そこで先生が一言『では授業は終わります。みんなこれからよく考えましょう』と（笑）。なん

のこっちゃ、分からないですよ」（「諸君」平成二十年十月号）

君』平成二十年十月号）

先生は道徳的価値を教えてはいけないと思っているのです、何がよくて何がいけないを示さない。したがって結果的に義家氏が言うように「なんのこっちゃ、分からない」授業になってしまっているのである。

「共通の価値」作った イギリス

こうした価値の相対化、喪失現象に直面しているのは、実はわが国だけではなかった。かつてイギ

リスでも、キリスト教的な伝統的価値に疑問の目が向けられ、価値相対主義が社会に蔓延したことがあったのである。

その結果イギリスの道徳的基盤が崩壊し青少年の非行、犯罪が深刻化したと指摘したのが、学校カリキュラム評価機構（SCAA）所長のニック・テート博士であった。

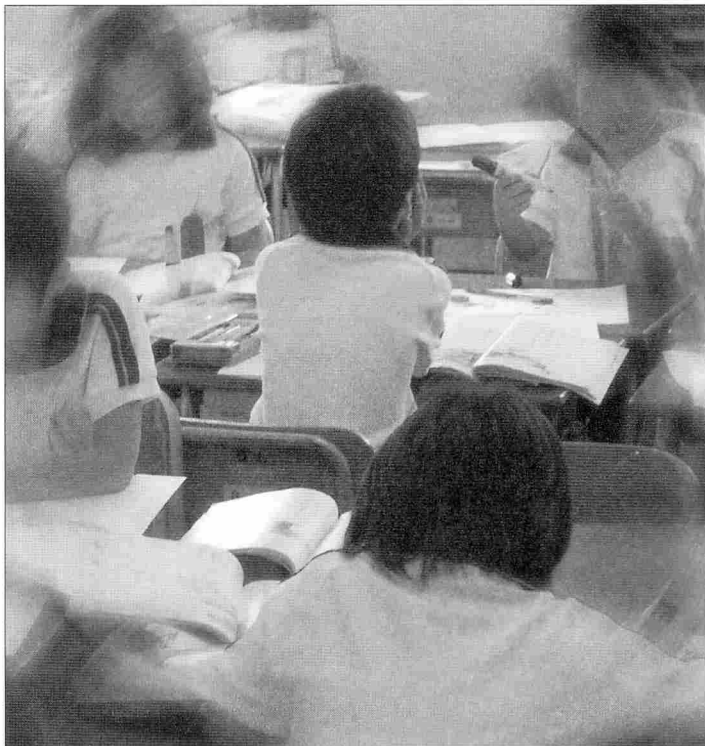
このテート博士の呼びかけによって教師、親、理事、宗教団体、メ

渡邊 毅

わたなべ つよし
皇學館大学准教授

昭和35年愛知県生まれ。皇學館大学文学部卒。昭和59年より三重県の公立学校に奉職。三重教育文化賞受賞。著書に『道徳の教科書』『愛国心の教科書』『道徳の教科書・実践編』他。編訳書に『二宮翁世夜話』。





デИАなど百五十もの団体の代表によって構成された「教育と地域社会における価値のための全国フォーラム」が一九九六年に立ち上げられた。

そして、一年余りの時間をかけて「共通の価値」が作成された。この「共通の価値」は全国的な同意が得られ、人格・社会・健康教育や公民教育に盛り込まれ教えられ

るようになったのである。

つまりイギリスは、イギリス版「教育勅語」ともいえるべきモラルモデルを作成し、これを柱にして道徳教育を行うようになってきているのである。

教育勅語が排除されてから、わが国にはこの「共通の価値」が失われている。一応道徳的価値は学習指導要領に示されているもの

の、その内容をほとんどの国民は知らないし、学校の教師でもきちんとそれを読んでいる人は少ない。

人格教育を進める アメリカ

道徳教育を充実させていくには、教育勅語のようにだれもがその内容を知り、それに同意し信頼をおく道徳教育の理念を示したものが必要である。これがあることにより、学校の先生は自信をもって道徳教育が行えるし、家庭や地域においても行われるようになっていくのである。

近年これに気づいて道徳教育をやっているのがアメリカである。アメリカではかつて（一九六〇年代）（八〇年代）、道徳的価値を教えるということは避けられていた時期があった。

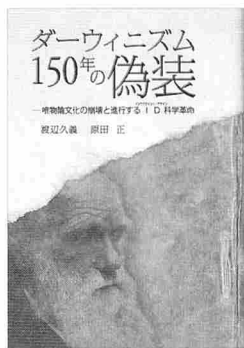
教師が道徳的価値を教えるのは押しつけである。子供たちに自由に考えさせて、子供たちが持っている価値観を明らかにすること、ディスカッションをさせることが大事

本書は、多くの人々の目を覚まさせるに違いない！
しかし本書は、ある種の人々を間違いなく不快にさせるだろう…

ダーウィニズム150年の偽装

— 唯物論文化の崩壊と進行するID科学革命

なぜ唯物論という「いびつな哲学」が社会を支配してきたのか。ここに、鮮やかな謎解きの旅が始まる。



渡辺久義／原田正 著
A 5版／324ページ／ハード
カバー上製本／2500円＋税

ご注文は書店へ お急ぎの方は下記までご連絡ください

アートヴィレッジ <http://art-v.jp>
受注センター：〒657-0846 神戸市灘区岩屋北町3-18
TEL.078-882-9305 FAX.078-801-0006

だとされたのである。

しかし、結果的にそうした授業では子供たちの道徳性が育たないということが分かっていた。そして、子供たちには、やはりまずは道徳的価値（徳目）を教えなければならぬという考え方に九〇年代以降変わっていったのである。

什の掟

一、年長者の言ふことに

背いてはなりません

一、年長者には御辞儀を

しなければなりません

一、虚言を言ふことはなりません

一、卑怯な振舞をしてはなりません

一、弱い者をいぢめてはなりません

一、戸外で物を食べてはなりません

一、戸外で婦人と言葉を

交へてはなりません

ならぬことは
ならぬものです

白虎隊の学舎
会津藩校 日新館

会津藩の藩校「日新館」に掲げられた「什の掟」

現在のアメリカでは、誰もが同意する徳目を設定して「善いことは善い。悪いことは悪い」とはっきり教えるキャラクター・エデュケーション（「人格教育」「品性教育」などと訳される）が主流になってきている。

また、社会においてはそれぞれの徳目にちなんだ短編の逸話や偉人伝を載せた戦前の修身教科書をつくりの構成になっている『道徳読本』（ウイリアム・ベネット編著、邦訳に大地舜訳『魔法の糸』実務教育出版）という本が全米ベストセラーとなつて、「第二の聖書」と呼ばれるようになっていのである。

このキャラクター・エデュケーション推進の第一人者トーマス・リコーナは言う。

「科学的な調査の一例を挙げると、カルフォルニア州立発達教育セン

ターが、三年間にわたつて、人格教育を実施した小学校十二校と実施していない小学校十二校とを比較しています。人格教育が実施された生徒は、学級内での素行、勉強に対する向上心、読解力などの項目でより高い評価を得ています」（トーマス・リコーナ『「人格教育」のすべて』麗澤大学出版会）

このようにキャラクター・エデュケーションを推進する学校は家庭、地域一丸になつて共通の徳目を設定して道徳教育に取り組み成果をあげてきているというのである。では、これからのわが国道徳教育は具体的にどのようなことを進めていけば、その充実化がはかれるのだろうか。

会津若松市のモラルモデル

かつての「共通の価値」教育勅語をもう一度見直すという方法がある。しかし、今ではそれに同意しかねるといふ人もいるから、すぐに復活させて活用することは難

しい。それなら、こんな方法はどうだろうか。それは、郷土に伝わり郷土の人々が誇りにしている同意する道徳的価値を掘り起こし活用するということやり方である。郷土には、その地域の人たちが誇りにしている昔の教えや偉人などがあるはずである。そうした教えや偉人の生き方を「共通の価値」とし、道徳教育に活用していくという取り組みを展開していくのである。

たとえば、「什の誓い（掟）」がそのよい例になるであろう。「什の誓い（掟）」とは、江戸時代会津藩で藩校「日新館」に入学する前の幼児たちが毎日朗唱した道徳的掟である。会津若松市は、この「什の誓い（掟）」に倣い、次のような「あいづっこ宣言」を平成十四年に策定した。

あいづっこ宣言

一人をいたわります

二 ありがとう ごめんなさいを言います

三 がまんをします

四車怯なふるまいをしません
五会津を誇り年上を敬います
六夢に向かつてがんばります
やっつてはならぬやらねばならぬな
らぬことはならぬものです

同市では現在この文言が記され
た看板が市内各所に設置され、み
んなの目に触れるようにし、誰も
が暗唱できるようにとつとめてい
る。また、市内小中学校では同宣
言に基づく道徳教育の実践が推進
されている。朝の会、帰りの会な
どで同宣言を唱和し、自分の言動
を振り返るといった取り組みなど
が行われているのだ。

このように郷土の誇りを活か
していけば、人々から同意を得られ
やすいし、学校の先生たちも自信
をもって道徳教育に取り組めるだ
ろう。

アメリカの人格教育では、伝記
や偉人伝がよく活用され、それを
通して徳目(道徳的価値)が教えられ
ている。それは伝記や偉人伝が、具
体的でわかりやすくかつリアリティー
をもって生き方の手本が示されて
いるからなのだろう。学習指導要
領にも「先人の伝記」による創意
工夫ある指導が行われるよう「指
導の配慮事項」として新たに盛り
込まれるようになった。

筆者はかつて中学校において、自
作の「先人の伝記」資料を使って
道徳の時間の授業を何度か行った
ことがあるが、それらを通して道
徳的な価値を伝えること、人の生
き方を考えさせることの有効性を
実感している。

学校の教育活動 全体で行う

また、学校の教育活動全体を通
じて行うことである。
「学校の教育活動全体を通じて行
う」とは、学習指導要領に記され
ている文言どおりのことだが、こ

れが全体計画を作成し徹底して道
徳教育を行っているという学校は
多くない。しかし、道徳教育の成
果を挙げ、子供の問題行動の減少、
学力向上というレベルにまでもつ
ていくためには、アメリカが実践
しているように学校が一丸となっ
て道徳教育を推進し、親そして地
域をも巻き込んで行っていくこと
が必要である。

道徳教育は、もう学校任せにし
てはいけぬ。みんなが知り
同意できるモラルモデルをつくり、
地域ぐるみで推進していく道徳教
育がこれからは必要とされている
のである。E

日本人は偉大だ

いちばん心に響く！ 世界に誇る20人の生き方

杉原千畝 朝河貫一 織田樞次
望月カズ 野口英世 今西錦司
新渡戸稲造 鈴木大拙 新島襄
西岡京治 ラグーザ玉 ほか

学校でも
ちやんと
教えて
ほしい！
日本の心



増子岳寿 著 四六判/246頁 1680円

誇りと自信が
湧いてくる！

ご注文は書店へ、お急ぎの方は下記へ

コスモトゥーワン

tel.03-3988-3911 fax.03-3988-7062
http://www.cos21.com
〒171-0021 豊島区西池袋2-39-6-8F

小林一茶 (1763 ~ 1828)

家族を失う悲しみ、病と闘い2万句を遺す

江戸時代を代表する俳人は家族を失う悲しみや病と闘いながら、多くの句を詠んだ。

ジャーナリスト 池永達夫

幼少時の孤独

江戸時代の代表的俳人である小林一茶は宝暦十三年(一七六三)、信州信濃の柏原村という村で百姓の子として生まれた。中條雅二作詞の歌「一茶さん」の歌詞の中に「信州信濃は どんなくに 信州信濃はのー 大雪小雪の 山のくに 春が来たとして まだ寒い すぐめもふるえて おりますじゃ」というくだりがある。信州信濃は、ただ自然に満ちあふれた山深い里というだけではなかった。

とりわけ柏原村は、北国街道の宿場で加賀の殿様が宿泊する本陣(大名が泊まる宿)があった。それだけに人の行き来も激しく、世の中の流れがいち早く伝わってくるよ

うなところだった。

村の神社の境内では、江戸の役者を呼んで芝居をしたり、江戸の相撲まで呼び寄せての興行などもあった。日本中を回る商人や、絵描き、俳句の師匠が足を止めることもしばしばあり、柏原村は開かれたところであった。そうした環境下で一茶の父親も、本を読んだり俳句を作って楽しむ文化人でもあった。一茶を育てた柏原村の文化度の高さや世の中の流れの一端を垣間見ることができる街道町の地政学的な意味は、一茶に大きな影響を与えたことは間違いない。

ただ一茶を一茶たらしめたのは、三歳で実の母と死別するなど家庭環境が大きかった。その後、やってきた継母とはうまくいかず、心を休めるべき家庭で心が休まることはなかった。

異母弟が生まれ、その子守で少しでも泣こうものなら「わざと泣かしたのだろう」と責められることもあった。さらに近所の子ども達からも、実母のない一茶は何かといじめられもした。それは一茶

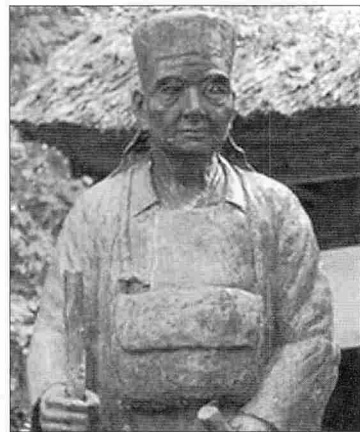
自身の弱さもあつたに違いない。ともあれ生まれながらの内向的な性格は、家庭環境の変化もあつてますます孤独な生活を強いられることになった。だが、楽しく人と付き合う外交的な生活の中に、心のしかかる問題を処理せず、心の内に向かうことで一茶の俳句の世界は、開かれていた経緯がある。

一茶は五十代の時、幼少の頃を思い出して詠んだ歌が「我と来て、遊べや親のない雀」、「雀の子、このけそこのけお馬が通る」だ。また「瘦せがえる負けるな一茶、是にあり」も幼少時の孤独と弱いものへの励ましのようなものがある。これらを好む愛好家は多い。

妻子を亡くす

いづれにしても、家庭的に恵まれなかった一茶の不幸と災いは、当の本人にとってみれば看過できないシリアスなものだったが、一茶はこれらを俳句に読み込んでいった。少なくともこうした心をむしりとられるような苦悩を経ないま

病を克服した偉人たち



小林一茶像=長野県信濃町の俳諧寺 (PIXTA)

桁違いの二万句だが、こうした心のヒダにひっかかるものを詠み込んでいった模様だ。

さて、継母との仲がしっくりいかないことを懸念した父親は、一茶を江戸の奉公にだすことにした。この時、一茶は「夕風や 馬も蚊帳つる 上やしき」との歌を残している。古里の柏原村では、たいていの家が何十年も使い古したつぎはぎだらけの蚊帳をつっていた。それが花の江戸では、馬でさえ萌黄色の新しい蚊帳で寝ているのに心底、驚いたのだ。

一茶は、晩婚だった。

一茶は五十二歳の時、二十八歳の菊を嫁に迎えた。菊は、長男千太郎、長女さと、次男石太郎、三

ま、以後の一茶の句は誕生しなかった。一茶が尊敬する松尾芭蕉が生涯かけて残した句は一千とされるのに対し、一茶は

男金三郎と、次々に子どもを生んだが、いずれも幼くして亡くしている。長男長女を亡くした後、次男三男につけた石や金という名前は病気に打ち勝ち、長生きするようにと願いを込めたものであった。さらに菊も三十七歳で亡くなってしまった。一茶はまた、ひとりぼっちになった。一茶が執拗に子どもを欲しがったのは、田畑の遺産相続権を確保しておく打算とともに、こうした孤独からの離別願望があったのかも知れない。

3度の脳卒中

幼いときに母をなくした一茶は、人の命のはかなさを痛いほど知っていた。

「つゆの世は つゆの世ながらさりながら」

人の命は朝露のようににはかないものだ。やがて一茶は、中風で体半分が思うままに動かせない病氣にかかった。そのうえ、子どもも次々、先立たれていった。泣くに泣けない、つらい毎日だった。

一茶は六十二歳の時、武家の娘で三十八歳の雪と再婚した。この結婚は五月下旬に行われたものの、早々に破局が訪れ、八月三日にはスピード離婚が成立した。こまこまに約二カ月間であったが、寝食を共にしたのは一週間もなく、わずか六日間に過ぎなかったという。半身不随の身だった一茶は、寝たきりになることもあり、失禁までした模様だ。雪は、こうした老齡の夫の世話に嫌気がさしたのかも知れない。

やがて一茶は、三度目の結婚を遂げた。一茶六十四歳、妻の宮下やは三十三歳だった。その結婚もつかの間で、翌年の文政十年(一八二七年)七月二十四日、一茶の住んだ柏原全体が大火に襲われた。世にいう柏原大火で一茶は母屋を失い、焼け残った土蔵での生活を余儀なくされた。過酷な土蔵での生活が一茶の健康を害したのか「焼け土のほかりほかりや蚤さわぐ」の句を遺したまま、同年十一月十九日、三度目の脳卒中で死去した。一茶六十五歳のことだった。E

子育ては＊絵本で＊大丈夫

＊15



浜島代志子
劇団天童/
天童芸術学校代表

真の幸せを求め求めてよだかは星になった

「よだかの星」



「よだかの星」宮沢賢治・作／中村道雄・絵／偕成社刊

よだかは、実にみにくい鳥です。という出だしの文に胸がぐいっと締め付けられます。ほくは何にも悪いことをしていない、どうしてこんなに嫌がられるのだろう。焼け死んでもかまわないからお日さんに頼んで星にしてもらおうとしますが、金があるだの相応の身分でなくちゃいけないだの言われて

◇ ◇ ◇

あの震災後、賢治の作品がもつと読まれるようになりました。劇団天童は賢治の弟さんのお孫さんの宮沢和樹さんにご承諾を戴いて、十二月三日の公演で、「雨ニモマケズ」オリジナル曲、寄り添う心を歌わせていただきます。

真の幸せを求め続けた賢治が今に蘇るのは当然だと感じます。賢治の作品はリクツで読むのではなく感じ取るものだと思います。賢治は「銀河鉄道の夜」で霊界と地上界を書きました。童話を通し

◇ ◇ ◇

しまい、頼むことを止めました。よだかは何もかも捨ててただ一筋、まっしぐら、身体が傷つくことも心が折れることもありませんでした。身体は死んでも、よだかの心は美しい青い光になつて静かに燃え続けました。この場面は感動的です。他人からどう言われようとくさされようと、要領が悪い、うまく立ち回れ、地位が無い者が何を言うかと言われてもいいのです。他人の痛みを知り、我が身の小ささを知り、それでも、光る星になつて、人にああ、きれいだなあ、あの星を見ると癒されるよと言われる存在になりたいものだと思います。

て日蓮宗を熱心に広めながらキリスト教に出会い、神の世界に触れたようです。組み木絵の中村道雄さんを北海道のご自宅にお尋ねしたことがあります。物静かな深い方でした。この文をお読みくださる方にお願いです。小、中、高の子どもたちに声に出して読んであげてください。リクツ抜きで読み手が感じ

■お知らせとお願い

楽しくてしみじみ、生の舞台へどうぞ 劇団天童公演に是非、お出てくださいな。

12月3日(土) ①10:30 ②14:30

〈1部〉ショートタイム アメージンググレース、ドレミの歌、雨に唄えば、お祭りマンボ、雨ニモマケズ

〈2部〉ミュージカル「山椒太夫」 出演：裕 幸二、KUMA、村上幸央 浜島代志子、山本志津、タネル志乃(劇団天童) 安藤由布樹、天童芸術学校生 市民俳優 チケット2,000円 超破格値。

申し込み 劇団天童 TEL・FAX047-703-7932

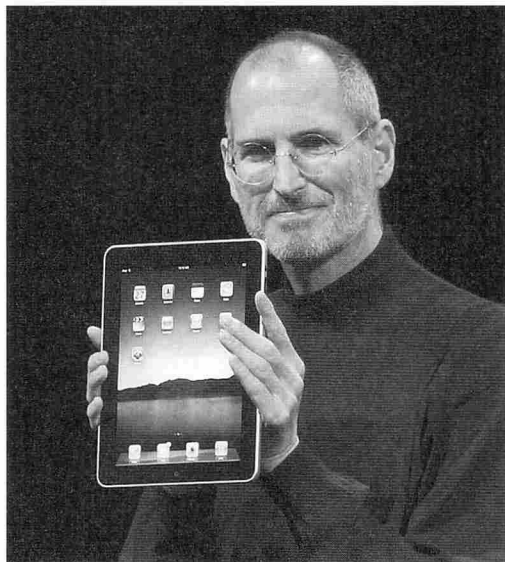
るままにお願いいたします。E

ジョブズ氏に影響与えた「禅」の思想 「今日が人生最後の日だとしたら」

十月五日に死去した米アップルの創業者スティーブ・ジョブズ氏。コンピュータのマッキントッシュからiPad、iPhone、そしてiPadといった製品を次々にヒットさせたジョブズ氏は、禅宗に傾倒していた。

インド旅行で仏教に触れ、一九七〇年代から禅を学んだ。自身の結婚式でも、

精神的指導者と仰ぐ日本人の禅僧乙川弘文氏の前で誓いを行っている。ジョブズ氏は「仏教には『初心』という教えがある」



昨年1月、iPadを発表するアップルのスティーブ・ジョブズCEO（米サンフランシスコ）AFP＝時事

とも語っている（『スティーブ・ジョブズ神の遺言』経済界新書）。

シンプルさをコンセプトにしているアップル製品の革新的なデザインは、禅宗の影響を受けていると言われ、彼自身のプレゼンテーションにも禅の美学が見られるという。簡素化によって美を表現する禅のように、本質的ではないも

のを削ってシンプルにする。それが明快なメッセージとなり、多くの人々を惹き付けるといっているのである（『スティーブ・ジョブズ驚異のプレゼン』日経BP社）。

二〇〇四年にがんを診断され、一時は余命三〜六カ月と宣告された。翌二〇〇五年のスタンフォード大学卒業式でのスピーチは、ジョブズ氏の死生観が表れたメッセージだ。卒業生を前に、彼はこう語っている。

「私は十七歳の時、こんな言葉を読んだ。『毎日、これがあなたにとって人生最後の日だと思つて生きてみなさい』。それから今まで三十三年間、私は毎朝鏡を見て自分自身にこう問いかけてきた。『もし今日が自分の人生最後の日だとしたら、今日やろうとしていることを私は本当にやりたいだろうか』。それに

対する答えが『ノー』の日が何日も続くと、私は何かを変える必要があると思うようになる」

「自分もいつかは死ぬ。そのことを思い出すのは、私が人生で重要な選択を迫られ決断を下すときに、最も役立つ方法だった。ほとんど全てのこと、外部からの期待、プライド、恥ずかしさや失敗に対する恐怖、そういったものが死の前には意味を持たなくなる。そして真に重要なものだけが後に残る」

「死は我々誰もが共有する終着点だ。そこから逃れられた人はこれまでに誰一人としていない。そしてそれは、そうあるべきなのだ。というのは、死はおそらく生が生んだ最高の発明品だからだ。それは新しいものが登場する道を作ってくれるからだ」

強い個性を持つ完璧主義者で、周囲と衝突することも多かったというジョブズ氏。一方で、禅宗を通して、「死」を意識する体験を通じて磨かれた彼の精神世界を垣間見ることが出来る。E

もう一つの教育

「よい行為の習慣をつくる
品格教育の提案」

青木多寿子編／ナカニシヤ出版
版／一五五五円(税込)



品格教育(キャラクター・エデュケーション)について、本書では「自分で主体的に自分の中によい習慣をつくり、よくない習慣を削って人格を完成していくこと」と述べられている。

例えば、「尊敬」「責任感」「自己統制」「正直」「勇気」など、よいこと(徳)を知り、それがよいことだと感じ、自ら実践することによって、よい習慣をつくる。これを義務教育の期間に一貫して行うことが重要だという。

品格教育では行為が重視され、クラスはもちろん、校庭、食堂、職員室など学校全体が実践の場となる。

キャラクター・エデュケーションは九〇年代に米国で見直され広がった。日本でも、「靴箱に靴を揃える」ことや「掃除」「生き物の世話」など、日常的に行っている教育活動を活かすことで、優れた品格教育ができる」と本書は強調する。実践の指針や実践例も紹介されていて、分かりやすい入門書になっている。

ジョン・レノンはなぜ 神道に惹かれたのか

加瀬英明著／祥伝社新書／
八四〇円(税込)



従姉・オノ・ヨーコの夫であるジョン・レノンと親交があった著者。代表曲『イマジン』の歌詞には、日本人の心と神道に魅せられたレノンの平和への思いが込められているという。

「魂の教育」とは何か

人格教育では、子供たちが教師や父母など模範となる人の人格に触れて良い影響を受けることが大切です。また、「人格」の語源には「魂に刻まれたもの」という意味があります。「魂の教育」は人格の核心とも言える魂の無限の可能性に気づき、その魂を強めていくこと、あるいは子供たちが自己の内面の価値に目覚めて人格の形成をなすことだと考えます。例えば、「大自然に大いなるものの存在を感じる」と言いますが、そうした無限の価値、意識のようなものを自分自身の中に見出すことだと言うこともできるでしょう。

東西の諸宗教に造詣が深い著者は、神道は宗教というよりも心のあり方を表したものの、人との和を重んじ、自然と調和しながら生きる日本人の心性は実は神道から来ているという。本書では、著者自身が世界宗教の発祥地を探訪し、異文化との出会いや対話を重ねる中で、日本人の心の根っこにある神道的価値とは何かを考えさせていく。

とくに善悪で捉えるキリスト教と美意識を重んじる神道の宇宙観を対比させながら、一神教的世界観の対立と戦争の歴史を生んだ事実、エルサレムのイエス復活の地に立つ教会が宗派抗争の場と化している現実を見せ、宗教による平和の難しい課題を浮き彫りにしている。

レノンを魅了した和の心は平和をつくり出す力を持つ。それに日本人が気づいたとき、守るべき価値は何かが見えてくると著者は説く。

五輪招致で一つになろう

空気が澄み渡り、深呼吸したくなる季節になりました。スポーツの秋です。

四十七年前の十月十日、東京五輪の開会式が国立競技場で行われました。アジアで初めてのオリンピックを祝福するような青空と、天にも響くファンファーレの音色が印象的でした。「体育の日」はこの日を記念して生まれました。

東京都は再び五輪を招致するため、二〇二〇年夏季五輪の開催地

に立候補申請しました。東日本大震災、原発事故、経済の停滞などで日本は今、閉塞感に包まれています。後ろ向きになりがちな国民の気持ちをも前向きにする上で、オリンピックは最適のスポーツイベントです。東京都、日本オリンピック委員会（JOC）、政府、そしてみんなが一つとなつて、五十六年ぶりの東京五輪を実現させたいものです。

ほかに立候補したのはローマ、マドリード、イスタンブール（トルコ）、ドーハ（カタール）、バクー（アゼルバイジャン）の五都市。来年五月の一次選考で四都市程度に絞り込まれ

たあと、二〇一三年九月の国際オリンピック委員会（IOC）で開催都市が決定します。これら強力なライバルに勝つには、いくつかの課題があります。

一つは大会の意義づけです。テーマは「震災からの復興」になるようですが、オリンピックと被災地を結び付けてより説得力のある形にすることが必要でしょう。東京での五輪開催は日本のためだけではありません。

大震災から立ち直った姿を示すことができるなら、自然災害や戦禍など苦境の中にある世界の人々に希望と勇気をもたらすはず。もう一つの課題は、私たち国民の

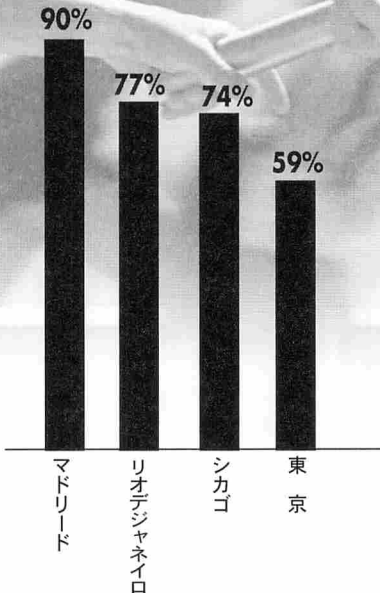
熱意です。二〇一六年五輪の招致に東京が失敗した要因の一つは、この熱意が足りなかったことです。IOCの調査では、東京五輪への日本人の支持率は五九%で、立候補四都市中、最下位でした。自分の

身の回りのことだけに関心を持つ一方、社会全体で何かに取り組むことに消極的になっている人が多くなっていることが分かります。二〇二〇年という節目に、国民

みんなで実現する「夢」としてオリンピックほど相応しいものはありません。日本人が一丸となつて五輪誘致を勝ち取り、日本と世界を元気にしましょう。

オリンピック開催に賛成する割合

(IOC調査 2008年6月公表)



家庭は愛の学校

真の家庭運動推進協議会

The Association for the Promotion of True Families

〒160-0002 東京都新宿区新宿5-13-2 成約ビル4F
 TEL: 03(6456)7760 FAX: 03(6456)7761
<http://www.apttf.gr.jp>

毎月第3日曜日は「家庭の日」
 11月第3日曜日は「家族の日」

「家庭の日」は、社団法人「青少年育成国民会議」が進めてきた「家庭の日」運動の継承し、今ではほとんどの自治体が、第3日曜日を「家庭の日」に定めています。さらに政府は11月第3日曜日を「家族の日」その前後2週間を「家庭の週間」として定めました。この日を機会に、「家族の強い絆を確認できれば、それは家族みんなの素敵なプレゼントになるでしょう。」

●皆様の御意見や気づいたことをお寄せ下さい。教育問題に関して、皆様の身の回りでの様々な出来事や御意見などを真の家庭運動推進協議会本部までお寄せ下さい。お寄せいただいたものを参考にしながら、皆様と共によりよい教育環境や家庭づくりに取り組んでいきたいと考えています。



第3種郵便物認可
2011年11月10日発行
毎月10日発行・通巻258号

ハンセン病患者救済に捧げたキリスト者／沖縄

歴史と
伝統の訪



(左上より時計回りに)青木恵哉像、のがれの島の碑、愛楽園所在地、強制墮胎された子供たちの慰霊碑

「魚ならば海にもぐりても生きん鳥ならば空に舞い上がりてものがれん五尺の体住む所なし」これはハンセン病国立療養所「沖縄愛楽園」のある屋我地島対岸に設置された「のがれの島の碑」の碑文中の詩である。作者の青木恵哉（一八九三〜一九六九）は筆舌に尽し難い苦難を乗り越え、療養所開設の中心者となったキリスト教の伝道師である。

青木は徳島県に出生、十六歳でハンセン病を発病する。二十五歳で香川県にて米国人牧師から受洗。その後、日本の救らい事業に影響を与えた英国人宣教師ハンナ女史に出会い、熊本回春病院へ移り、聖公会信徒となる。ハンナ女史から沖縄の病友伝道の命を受けて一九二七年、青木は沖縄へ渡った。

当時、県行政の療養所建設計画は各地で住民の猛反対にあい、全

とん挫、病者は捨て置かれていた。青木は沖縄各地の山や洞穴に隠れていた病者を訪ね歩き、食べ物や衣服を与え、寝食を共にし、キリストの愛と福音を伝え続けた。次第に彼を慕って多くの病友が集い、共同生活をするようになる。

しかし、当時の無知と偏見は青木らへの差別と迫害となり、住民の焼き打ちにあつて、無人島に逃れ着く。「のがれの島の碑」の詩にはその時の青木の心情が表されている。やがて青木らの惨状に心を痛めた多くの協力者が現れ、一九三八年、屋我地島に後に国立療養所となる病友の安住の場所「国頭愛楽園」開設の悲願を実現する。

イエス・キリストに倣い、如何なる時も病友に生きる希望を与え続け、信仰を貫いた青木。七十五年の壮絶な生涯はこの地で静かに幕を閉じた。E

2011
11
no.258
En-ichi

●発行所
NCU-NEWS
(東西南北統一運動国民連合)

〒160-0022
東京都新宿区新宿5-13-2
成約ビル2F
TEL.03(5362)0631
FAX.03(3354)5017
E-mail news@en-ichi.org
URL http://www.en-ichi.org

●発行人 **渡辺久義**
京都大学名誉教授

定価 400円
[1年間5000円(送料込み)]
郵便振替番号
00160-3-667291

●本誌に対するご意見、ご感想をお寄せください。
●定期購読のお申し込みは、電話またはEメールでどうぞ。